

基調講演



日本被団協代表理事

金本 弘 氏

金本弘氏（1944年広島生まれ）は生後9か月で被爆。白血球、赤血球が少なく病弱体質と言われ育った。小中高大を広島で過ごし、名古屋市で高校教諭を務めた。70歳で愛知県原水爆被災者の会に入会し、現在は理事長。2015年に日本被団協東海北陸ブロック代表理事に選出され、2024年にはノーベル平和賞授賞式に参加。2025年、国連NPT再検討準備委員会のNGOセッションで核廃絶を訴えた。

パネルセッション

河合 公明 氏

長崎大学核兵器廃絶研究センター教授・副センター長

高橋 悠太 氏

一般社団法人かたわら 代表理事

倉本 芽美 氏

（立命館大学国際関係学部4回生）
立命館大学国際平和ミュージアム学生スタッフ

（司会）

君島 東彦 氏

立命館大学国際関係学部特命教授・国際平和ミュージアム館長

ノルウェー・ノーベル委員会が日本被団協にノーベル平和賞を授与すると発表してから、まもなく1年が経過します。今年は、国連創設80周年、そして核時代の幕開けから80年という節目の年でもあります。このような歴史的な背景のなかで日本被団協のノーベル平和賞受賞をどのように受け止めるべきでしょうか。そして、私たちは被爆者とともに、どのような道筋で核廃絶を目指すのか、考えたいと思います。

― 被爆者とともに私たちが何ができるか ―

ノーベル平和賞 から核廃絶へ

定員
130 名様
参加無料
要申込

2025 **9.29** 月

[時間] **13:30 - 16:00**
(開場13:00)

[会場] 立命館大学衣笠キャンパス
創思館カンファレンスルーム
(京都市北区等持院北町56-1)



参加申込はこちらから
(定員になり次第締切)